

「自分の十字架を背負う」 マタイによる福音書 16 章 21-24 節

2021.7.4

●アウトライン

1. 神のこと、人間のこと

- ・ イエス・キリストの受難物語のはじまり
- ・ 自分の目先の人生のことだけを考えていたペトロ
- ・ キリストの言葉「あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている」
- ・ イエス・キリストに従う道とは、人間のことではなくて、神のことを思う歩み。

2. 自分の十字架を背負う

- ・ 「自分を捨てる」とは何か。
- ・ 私たちの十字架とは、刑罰や罪悪感としての十字架を背負うことではない。
- ・ 自分の十字架を背負うとは、神の救いのご計画の中で、私たちに与えられている働き、使命、責務を全うして生きるということ。
- ・ 十字架の道は苦難の道。しかし、最後は栄光と喜びに至る道。

●聖書箇所

【マタイによる福音書 4 章 17 節 新約聖書 5 ページ】

「その時から、イエスは、『悔い改めよ。天の国は近づいた』と言って、宣べ伝え始められた。」

【コリントの信徒への手紙一 15 章 58 節 新約聖書 323 ページ】

「わたしの愛する兄弟たち、こういうわけですから、動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。主に結ばれているならば自分たちの苦勞が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずです。」